浅草寺志　七

内閣文庫
和書
類　號　冊　架

内閣文庫
番號	和 22711
冊數	30 (7)
函號	192 306

国立公文書館
National Archives of Japan

銘新吉原一丁目萬屋屋秀より

寛政の頃新吉原江戸町一丁目質両替屋万字屋何かしか後家ひてとりしもの一子久次郎といへるものを雑より浅草茅町二丁目伊勢屋治兵衛といふ者の方へ奉公にまゐりけるか十四歳の時三挺船子乗合九人船頭一人にして品川よりとの浦をとほりける大森村ちかく出る紫菜を積たる五大刀船あやまりて行當り三挺船忽ち覆りて久治郎をはじめ六七人溺死そのうち者二三人は此事いまた宿へは告すさる内に毎々耳に久次郎かありさま唯今帰りしと告らしその姿もありありと眼に見へけるん跡にてその幽霊なる事を知り悲歎のあまり

杉木文庫
内一〇九〇七號

五

彼菩提の爲秩父第三十二番法性寺の観音の尊
像を模し鋳て當山と本所田向院とおの〳〵菩提
所端芝の何かしかるに納りし之かの紫菜を積に
なる船ハなるなり御吟味ありしに八間の船に九丈
の帆をかけ剣三人乗りて楫の方に一人のこしたりなり
法外の働とて四懸しに深く三人ともに江戸御
構なりけるよし知る人の物語之

宝蔵 土蔵なり　に在

朱塗の唐櫃に銅にて作れる孔雀鏡五面 ウクの中に入る
虎と猿と鷹とを画し衝立かや　此内に蔵む
東照宮の御宮ありし時の御調度之と云銅の
孔雀ハ屋根に除きしものなるか是の焼跡し

アとりとふ

戻藤　秋葉社の北六歩三尺にあり

讀江戸砂子名木れ聚に浅草熊谷稲荷の例に在
享保始のころ境内辯天山の水石を奉む時此藤池の
邊へもらひ植られほとなく枯ける時に熊谷社の
堂司見性坊夢に我か藤をいかにして他へ移すれ
いまなかし速に元の地へかへしてよいふる両夜
におもひより則て花の枯たるを以前の所へかへし
植られ歳ほとなく活て枝葉かうへ青葉を見せり
此藤今に存せ　江戸鹿子文同しきゆ これ異を

小豆八斗目の石　江戸砂子よりちかき其のたや熊谷稲荷の藪
の中に在　江戸志に近年　見えたれ　柳に此石の有る今尋

何と知る人なし

秋葉大権現社　熊谷稲荷の北に在
社一間ニ一間半　秋葉大権現額黒地隷書金字筆者
不知　鰐口銘寛保三天八月吉日　石階五級　白木鳥
居高七尺六寸横六尺二寸銘に時文化二乙丑初冬
下浣建之秋葉宮額黒地篆書金字北溪惟明

庚申塚　秋葉鳥居の右扶の下に在高弐尺許　三方小青面
金剛の像を彫揚りて銘二字缺　庚申一座供養二世
寛文缺庚戌年霜月六日

法華経供養碑　秋葉社の東南三歩許に在高四尺六寸四方
銘に凡讀誦法華經一百部供養塔當所山之宿町
山中佐兵衛冨山元清敬白左銘願以此功徳普及於

一切我等與衆生皆共成佛道　享保五庚子天三月廿七日右
銘に好處腰折八百余首之内二首に爰記しをける
法のまゝをかのしち十九字缺　愚なる人乃わざをいふもちと
て添ふるのみそとの事

寶篋印石塔　秋葉の本の方に在高九尺一寸銘寶篋塔
小町櫻　斐成云藤棚の東の方今原になりしらわ不なあり
小町櫻と刻じたる碑もありしか今は谷中何かしる
かあり石の橋杭のやうなるかくちきと人のかたりき
江戸砂子に小町櫻小町石塔古鹿子云本堂のうしろ
に在と今はなし石塔は別當のかまへのうちへ引込て
ありと云　江戸志に紫の色とわかれまた本堂の後に所跡
小町々石塔ありて小町櫻と云　名木ありしとそ今は

なし田ニ小姥橋と云あり是や小町と云しの石塔ハ智
楽院へ移されしといへり山岡浚明云按るに小町墓國々
に誌あり関寺にもあり江刈高宮宿の近き邊にハ
野村にも小町が墓あり又奥州にてもあり江家次
第四に曰在五中将到陸奥國向八十島求小野小町
尸夜宿件島終夜有聲曰秋風之吹仁付天毛阿那
目阿那目後朝求之髑髏目中有野薄在京中将
涕泣曰小野止波不成生計里即歛葬と云是等の
説によりて見れハ當寺に在るを小町が墓と云ふ
も前人の填ふるにあらさるにや

藤棚　秋葉社の北六間三尺にあり　東西八間南北四間
手に蔓る

芭蕉翁像並発句碑
二寸五分　臺一尺一寸　銘くさしきのいつら見やうつ花
の雲も姑哉　爲八十三翁泰松堂左銘寛政八年
丙辰十月十二日依樓堤需以笠翁之圖左嵩雪寫

樓川發句碑　高三尺四寸五分横一尺蔵
寸臺八寸五分　銘十三夜月もかくれ敢ふ木の戸かな
樓川戊午古木揮十七周之年門人建之應永獅子
眠雛口採筆

雪萬發句碑　藤棚の南三歩許に在　高四尺六寸横
一尺三寸　臺八寸　銘名云と川　湧く出る泉　新さく
京文来庵雪萬

老女稲荷社　藤棚の東四歩許に在　社一尺三寸五分四方

近年勧請せられし
櫻発句碑　花女稲荷玉垣の東際高三尺横六寸五歩
厚七寸五分臺　銘題櫻囍を以外のさくらハちりてを
夜の色鼠肝　裏門へ詣へなかりちからゑ久さて湖十
浅草も　鐘ハあらもの夕佐多羅超波　生されハ子
ゆかしきよすられはくなを負佐　生て居る役目かな
努よ卯杉乾十右銘らつし植る花を千手のかこの
し小傀儡亭東阿　後銘惟金龍大悲閣除植櫻
桃善種而為百花林首即為奉于観音大士也可謂
妙花開矣曽聞此地嚮乎歴千載焉故雑松柏之峻
茂而始樹花木数十株者蓋享保十有五歳庚戌之
春則距今六十有餘年也尚吾黨之倡家奉於數種
而林中栞木之一禁嚴然乎于時賦國雅俳諧詞者亦
多矣因挙其俊傑之一二章而復古之寛政癸巳春
二月江陵花柳貫久敬東阿識

御成門　本堂の正北に在幅一間御鷹野の時御通行の
御門なり常ハ閉して往来を許さす

花塚
花塚ハ在高四尺九寸横四尺五寸　淵處四方小埒あり　題額
花塚と草書して刻む　銘左の如し
かゝる花を挿をたしつゝ生え来れるを近き
代まで甚花とさすゑ此宅来まると来て其流
らをくみかれぬ笠公翁の高乱されそわさと好
けこれ大体ののちらに招流とよかへて弟子あまた
えられてその名月のつとめり　凡六十餘ハすてにたる

此ゐ絶は草本於て接ちる美ぬこし 三月十七日
うの翁歌つき友垣月方子ニ集りてかきよせ
字さしてよ向つきものなすりを字しくあさ
むるを代おりひて御草ちの大ひさの堂のし
語らなふにを擇て其花を切りて家つりと名
付て後の世よ称しるむとん 彼方子の中 二子石
氏乱西翁の称されしますふ笠翁ゐの名を
継られくと依よ計て其つよ朱ぬこきとき
かいてんしとこいるとよいあひあしそして此
時文化元年 七月千蔭

佐々木治脩所立碑
銘水中放光明黒眼信心生出現田瀧裏金像霊
験観音薩埵盛右讃古當山よ千本桜あり いにしと
なし折てふしときゝし時なるうれを寛政癸丑
の春信心の翁なりしふ稀々の桜を植てもと
歌しちま家よりの此い貴御歌集をなんそいふ
しるす若んや予もひとつ川の碑を歌し奉ん
と云ふ有力足らされとも四方の君子よこひて
世人の嘲をも不顧拙き言の葉を述するし見
後をは錦そ其の基也 行末は是の泉ゐる
永日石を持と九十九ほまよ去しまて
羽州象潟邊行年 七十二歳淙佐々木治脩敬白

楊弓土場 吉村屋藤屋松本屋喜久本屋山里屋岩
城屋沢村屋滕屋とて七軒あり

若宮の址　江戸砂子浅草寺園に千本桜の方小若
と云ふ処あり何神をまつりしや今此
宮何かたへうつりしやきこへなし
千本櫻の舊蹟　江戸砂子浅草寺園に千本桜は新迎
堂のうしろの方にありしか今は枯て了ふて茂
かし　再校江戸砂子に本堂の北の方元文の
頃桜千株寄附ありて栽る　江戸志に元文
の初遊郭より是を植て其植たるもの遊歸
時名を付て出る桜に移し近世多く枯
折て残るものなし　日下部清明之元文の
頃うつしより桜植るにおよひて其頃の桜
絶て今はなし　諸國図會年中行事大成桜

花江戸上野浅草日暮し御殿山　宗子貫文敬か
碑文ありては享保十五年庚戌と見へたり元文元
年より七年前や遊郭より植しなるは貫
文敬か碑證と云へし今の穂谷稲荷一の鳥居の
脇と十方人偏依袁塔の処に桜切株ありしを
も千本桜の内と云文淺島の社邊にある桜を
も称の(て)いへとも千本桜は古図にて一々示
にたかしられたりその木にていふなりし
庄司道恕か洞房語園に此桜の発句を載文藻の下に
ありとて
釋迦堂　本堂の北にあり堂二間半に二間　江戸砂子本堂の
うしろにあり眞靈妙に十社側

釈尊涅盤像長六尺四寸五分蓮臺の下の石ニ金ニて
蔦の紋を付られ銘普門品全文略元禄十丁丑歳
四月廿九日武州江戸住御鋳師田中丹波守藤原
重行作左銘一念弥陀佛弥陀佛一念念〻無生
国無生即念〻観室了音書俗名荻原長右衛門
正面ニ位牌観室了音居士武州江戸冨澤町俗名
関岡長右衛門とあり戒名の上ニ蔦の紋所ニ画く
鶴林假現額ハ地篆書粉字元禄戊寅仲春縁字印
雪道人トアリ
法華供養石塔　釈迦堂の東ニ在高八尺臺坐石并碑
首月形ニ妙法の二字を刻し蓮臺ニ経の字刻ミ
碑身銘経文之巻縁當社稲荷之神也者昔時在
於北越施於霊之霊聴也茲予寛文年中有所以而還
亭此地矣于時欲念神力之増益自手拾ニ石毎
石三禮珍敬之而大乗妙典全部書寫之而以奉納壇
下之土中已竟石芒其體雖可壊斂入親墨而表其清
浄手今歳亦以書寫同經穿石綿密首題唱満成之
一基志願充足之記付乞神力増進利益無窮乍
恐天下泰平國家安全且信印諸人二世大願成就
圓満願以此功徳普及於一切我等與衆生皆共成
佛道之章趣如左焉爾旹寶永二乙酉雪臘月十
六日書寫熊谷安左衛門法名山本院一中日穎右銘
實相真如月ハ衆生長夜の闇破て心を一中
妹法性院妙了日觀一中妻清浄院妙理日業

そしふも浮世の空の果となしくかりはとすれ丹
小布施一中右銘一基造主願主阿部氏
銀杏樹　釈迦堂の前右の方弐歩半許ニ在圍一丈四尺
七寸
欅樹　同左之方三歩許ニ在圍九尺五寸
十社大権現社　本堂の北ニ在　社八間ニ壱間半　十人
の草刈をまつる　一座一間　各四尺六寸　石階五級　十社大
権現額　木地篆書紺字　龍崎和道謹書　十社権現
の苗裔とて領内ニ七家あり　其三家ハ許なりし斐
成三田三郎左衛門ニ問し小左衛門とも云
林木町　名主　照田権左衛門　花川戸町　年寄　江原清左
衛門　同町家主　當麻彦兵衛　山の宿町　長五兵衛店

室田次郎兵衛　同町家主　樋口五郎右衛門　同町名
主三田三郎左衛門　頭松院地内　嶋田幸八　関口氏　撰
井氏　直井氏　江戸志十社権現観音とあり　江戸砂子
十社権現草刈十人をまつる
銀杏樹　十社の南三歩許ニ在圍九尺一寸　七面社銀杏
の下ニ在　社二尺八寸二七寸
地蔵堂　本堂の北ニ在　六角の堂なり　西向一方　各壱丈
七尺五分　欄間ハ彫物彩色美を尽ス　但正面ニハ彫物ハなし
西北の欄ハ　桐鳳凰　東北ハ　松孔雀　東ハ　龍　東南
ハ竹白鷴　西南ハ　松鶴　之正面の扉ニ九ニ三笹の紋九
に三星ニ一文字の紋　梅鉢の紋　窠ニ唐花の紋　四をつ
けしり　天井墨繪龍圖　大寶殿額　緑地　行書金字

木尊地藏立像左右掌悪童子臺坐三段共ニ右二十
段銘中尊大士願主列名中山傳右衛門紅屋弥兵
衛久保茂左衛門建部氏婦人下谷御徒町何某明
神下何某大木氏遠州屋平兵衛大日利兵衛道具
屋佐兵衛喜右衛門智月童子亀田屋長八内室八幡
屋五郎兵衛阿満屋惣左衛門川村氏喜ゐ俗名おいと
松誉法山涼秀子夢覚童子柳光童女丹誉照頓信
士柳光童女夏月童女芳春童女二ツ目学任院妙智
大姉秋花童子和泉屋久七膽誉敬導信士光綾童女
貞京童女貞淳童女唯是童女智浄崍丹大姉冬幻
童子善智妙性童女湛然了穏童女覚誉了本居士
秋智光童子顕阿智教童子真敬童子行雲幼楽

童子了涼童子妙誉童女法含童女祐善童女秋智彰
善男子幻怨童子秋覚童女浄花童女春光映智童
女幼理童女知春童女よし泉藤屋乙屋長兵衛田中
喜兵衛木具屋五郎兵衛森小弥太内室伊勢屋藤七
升屋市右衛門工匠五郎右衛門工匠清七三郎兵衛多美
袋屋清右衛門金子善四郎千種氏榎本氏油屋善六
中段銘寂孝真保信士青岸童子宗室浄完信士忍
光童子恵幻童女青林院清香暫光童女浄心妙正信女
寛憲寶因士智覚憲光女心鐘院了念信士法蓮院妙
樓女増誉上人才誉西岸信士性誉智生女祐寛禅定
門春光女清誉浄音童女恵春童女覚祐童女無心一同
信士一無禅物信士幻空童女宝参柳條見春童子春

理童子幻露童子彩智仙子方誉婆取法子光誉明覚
信女照誉法締信士俗名おせん乳母㐂七卯施主濱松
屋右兵衛正應童女智感童女離念禅定門小倉氏
一切精霊川嶌氏一切霊堀江氏一切精霊奥冨氏一切
霊先祖代々精霊珠應童子玕珠童子念空妙嘉
信女真應浄天寂真際信女了慎信士巌阿浄心
信士浄阿順清信士俗名岩崎屋源八秋月慈照女
妙吟信女寂妙暁童女映室信士清霜童女春窓院
暁林士桃屋春窓信女寶傳相悟信士俗名おいそ
光誉清壽信女秋月妙運信女闲誉定無信士本室
妙心信女悦應清心信女秋月浄光子陽雲慈法童子
玉室春峯信女本覚儀空信士物三道無信士本誉智

海信女玄嘉童子幻夢童子幻雪俗名嘉兵衛一切精霊
妙嘉信女俗名安治亟大夫了玄童子玄心童子養壽院
大姉一切精霊浄悦信士妙讃信女玄往信男慈順童女
性夢童女玉誉了珠禅士齊法童子本性院殿美顔
具桐童女春玄善子壽了童子法立童子妙夢童女
俗名おてつ　俗名おいし　智養童子西祐院先祖代々
五月六日精霊六月八日精霊浄覚妙光信女在阿童子
昊丹誉妙栄信女大篤院秀元居士寂了達童子観秋
童女心誉清安信士歓誉嘉善法子沢誉妙應信女白
童子夏香童子教意童女英郭童女一切精霊施主
上別门苞丁柳ヨ智傳明室浄光信女傳誉光印信女
春雪覚智信士桂倫妙容信女一切精霊陽湛是徳

庵主蘭臺妙香信女智法童女得誉自忍信士起勝院
自閑信士平塚院宗順居士引誉接摂信士清光院了寿
居士先祖代々両親霊真月智鏡信女西誉了閑信女
覚了院常性大姉貞吟童子蓮成浄閑忘全居士
万誉勇哲信士了覚信士養寿松安貞意大姉勇誉妙
哲信女妙音信女知徹居士来誉迎蓮信士花艶玉樹
信女鏡誉了丹信女夢想幼覚童女寂南石居士貞
讃大姉右七具之施主川村氏きそ見光童子了知信士
教残童子法臨貞秀大姉鏡楽山月明智大姉寂子
悟信士恵照童女一樓童女永次郎桂林童女春光童
子善良信士清安了念信女紅顔蓮池童女櫻屋貞
顔信女勇林行智信士寂林照童子先祖代々霊蓮

法童子保欽童女光雲院浄延居士寂妙幻童女妙相理
傾女清光院妙然大姉短幼童子修善院物外清樹
居士寂道寿信士閑峯禅童子玉泉院孤岳月窓童
子寂妙寿信女了意童子清光院妙誉了寿居士観
光院照順居士春洞院殿蓮室光然童子松誉貞延信
女松窓幻林童子知徳院月庭妙皎大姉光含院智照
大姉語誉浄山信士夏山宗雲信士薫誉妙光法尼
慈性院月宗妙貞金下善五郎浄室童子雲性院
桃顔映花童女法かん女妙光信女幼明童女浄誉涼清
居士妙霜童女了松童女了梧童女俗名りき家内祈祷
一切精霊智弁童女寂由童子光顔笑慶女智月高昌
女施主八百屋清兵衛観玄光相士誓月妙縁女宗主

信女徹応秋山士仙林寿松了山自清性誉貞円女貞心信
士妙性信女寂妙性女調智童女一切精霊寂勇円士
陽山信士志閑信士宗源院源清士（三月十五日 七月二日）家内祈祷先
祖代々徳清信士智春童女両親菩提覚誉宗春士宗
念童女一切精霊教全信士四月廿日佛五月十九日佛浄
意信士妙影信女三月四日仏迎西比丘尼妙円禅定尼
本巌良瑞士慶雲院殿瑞心守白大姉妙光西帰女誰
涼院殿貞荷浄蓮大姉寂妙寿信女先祖代々昊周
感妙恵童女孤雲照含士宜誉祐覚士先祖菩提宗泉蓮
貞士昊香童子丹心童子寂教恩信士随性院寂全教居士
霊複誉念月士素光妙蓮信女徳在童子涼幼童子
旭含童子施主日本橋大坂屋甚兵衛亦藤家先祖代々

霊真照院高月亮生大姉温了儀慶信士閑月院日白宗
信院日常観心院日閑観如院日喜楓林真紅大姉玉帰
院寂智道士黄玉院寂妙讃女玉顔秀智禅子玄勝童
子妙喜信女玄諸精霊施主斎藤正直美徳院雪光量
子光含丹長女傾西禅定門智誉妙禅尼善春童子
寂妙了女定阿上人劫羅道音寂智空子常性房蓮
露桂香宗知信士浄心房幻教童女寂妙順女如賞信
女照念信士寂玄周子寂性信女寂浄心士両親菩提
寂智清女順泡童子光岳宗洞長楽院殿清岸院妙浄
松樹良天妙教信女丹山理仙残月次光先祖代々向誉
妙念女寂是佛子智春童女両親菩提空岸善心暁
夢童女林應禅定門妙想童女家族祈祷先祖菩

提善貞丹成女幻鏡院寂忍光信女喚玉光映童子櫻
散女消夢子實心妙觀信女祥雲院春了妙性童
女芳含童女桃林宗悟信士寂妙霜童女觀月愛光
女淨念光道信士妙花院宗雲童女花鏡院陽雲院
寂晴山慈仙子清正院貞学尼妙清童女光雲子智相
教丹童子清光童子視教女芳雲智照大姉是法童
女法泉院春永童子咏道惟然女楊顔智玉信女了仙
童女智祐子妙貞信女妙心信女法心自空禅定尼淨
嶽清祐信士智相教丹童子晴雲智貞信女丹誉智教
信女教蓮童女顕大用前禅定門成徳信女橋本氏
久昌童子清蓮童子光徳代々一切精霊楓林宗悟信士
蓮室迎接童女春順歡夢信女常念光道信士清光

丹信女春光幻夢童女梅巖法夢童女旭露童女蓮淨
童女花容童女春曉童女悟秋童子咏道惟念童女妙
智童女光嶽随本信士法泉院還慶竜女寂恵嶽信女
法千院善提離春到岸信士清安了念信女寶岳院清
光常觀士岑教童子光祖代々精霊正誠院知願即性
居士西誉淨性信士六人水子菩提真月院了秋妙觀大
師専誉淨求信士法誉性山居士光臺院玉泉妙照
涪翁良喘居士白嶺道雪信士信解院妙善信女
智幻童女桃屋妙林信女徳誉寿元居士幻夢童
子櫻雲院殿苗秀童子恵林童女梅光院殿理幻
童子善仙童子由泉信女如幻童女念照信士理乘
童女利曉童女春照院往誉利生朔日仏廿三日

仏嘗秋童女敬恵信女叙智丹童子本量院殿梅雲春英
童女暁夏童子俗名清二郎蓮恵童女下段銘香伯淨
榮十二月廿五日精㚑四月五日精霊安照桂心信女誠覺院
日詣大姉正明院了中居士芙蓉院清顔大姉直指院了
中居士石八㚑施主快心院光真大姉素空童子喜巖
信士缺童子叙智暁童子淨覚信士真雅童淨丹禅
定川先祖代々㚑施主泉義八俗名半兵衛慈専童子
秋冷童子教山道久宝泉院呂山法印俗名おさん俗名
おつね念了童子玄光信士祓宗童子父兄方精㚑洞
巖童女俗名新八蓮誉童女梅子童女春暁雪夢童
子蓮荷童女妙丹智教信女祐幻童子大丹信士一祐
傳信智覚童女了仙童女夢覚童十月光宗玄童女

清室妙蓮信女寛信智光信士叙智法童子玉円童子蓮
智院超雲童子丹達童女恵妙童士歓誉淨喜先祖代
々㚑施主秋山氏母貞順閑月養輪童女智薫童女
先祖菩提蓮智院即了院了還院青高院池寿院清林
院涼喜院秋涼院一切精㚑施主服部氏丹喜院榮
讃女正月十八日精㚑見光陽玄童女法室意薫女一
切精霊仙誉紫房信士光誉相快信女涼心是性信士
瞻誉恵仰信尼東旭童女二月十三日精㚑四月十日精㚑
叙遊念童士喜陽童女健性童女おちよ菩提暁雲童女
一夢宗意居士観道信士常用信士一切精霊智春
童子光誉貞岸女知好童子十二月二日精㚑以上正面長寿院
殿光誉正恵大姉應誉現證信士徹妙院殿門誉法林大

姉歓誉妙喜信女授光童子受諦妙證信士志精灵菩
提覚性院妙感日成信女両親梅岡祈祷七日精灵菩
提十廿日精灵施主工藤氏三日精灵菩提十六日精灵
浅野祈祷剃春童子宗真童子理教心清信士覚室函
智信女陽幻童子六月十九日精灵八月廿一日精灵恵教
童子六月十四日精灵真教童子智薫童子施主青木
廿郎兵衛真徹信士恵恭信女施主大谷拾右衛門了春
童子光山道喜信士施主吉野茂右衛門夢想道徹信
士妙斉信女灵相室貞丹信女晴露妙鏡信女春影童
子施主伊豆屋兵右衛門先祖一家精灵陽薫童子空玄
童子水子菩提先祖一家精灵竹内氏鏡寿院蓮成八
森氏理信院妙成先祖一切精灵施主山本氏利誉安

養信士松誉遊易信女施主山本氏養誉誓安信士雲晴
童子妙教童子教恩童子妙宗童子妙秋童子教学
童子芳室貞寿大姉施主鉤氏智恩童女丹遍童子
施主高木平兵衛量儀童子寅年女子祈祷申年
女子祈祷亥年男子祈祷吉沢氏家内祈祷圓證
院殿教圓院殿天廣院殿浄觀院殿智光院童女觀
誉润貞信士先祖菩提（以上白面）心月院為哲大姉永井軒翁
菴主寂光院妙丹禅尼自光院聖山居士智光丹了信
士正阳院妙受禅女先祖代々諸積灵清山浄應信士
先祖代々精灵清岸浄心信士丹脱行縁信士智潭童
子貞林信女夏屋妙容信女俗名吉右衛門俗名荘兵
衛先祖代々精灵両親有無二縁清月智教童子梅

変院幸月童女瑞光妙伯童女幻覚童子秀岸智性女
法夢童子了源院寿哲居士寂浄心寂源智寂周智先
祖代々霊施主越前屋喜右衛門教覚童子清空慈芳
禅女覚了院玄明居士諦覚院善聴信士春栄童女先祖
代々精霊明了院直心信士過光院徹髴女施主本田如三
傾花童子智證院寂真丹女志諸聖霊施主吉田忠蔵
了幻童子西誉浄雲信士明雲院春花道林信士先祖
代々一切精霊輪峯浄徹士寂朗西先祖代々精霊
妙達童女真光童子一切之精霊心巌院洞源信士明
雲院殿清教童女 元文四年三月十四日 禾 休巌童子 宝暦二甲年二月七日
幻清童子 寛保三亥十二月十九日 樹光童子 寛延三年六月十八日 宝心童子 宝暦四代
年九月十七日 禅入宝祐女 明和九子年六月廿日 見光童子 浄雲童子教

誉妙性信女花月栄性信女先祖代々精霊台應善如
信士先祖代々之霊春林院声入居士芳樹院子閑大姉
桂應快山信士通應院妙達信女慈音童女善誉智心
信士智覚専光童子妙蓮院丹達信士至心院正應居
士妙閑信士宝仙童子真念童子先祖代々霊 以上後西 持円童
士幻露童子両親菩提 万屋市兵衛 厭誉浄求信士諦誉
慈円童子良山栄雲信士養道禅定門妙相理頓信
女翠岸露清信士心観性察信士観月妙喜信女
養忠童子智妙童女頓安了證士露春童子優誉浄
光女貞性信女水子三人春光童女法順童女施主丸
山島右衛門寂智貞女念山浄光士達幻童子俗名九
兵工潭露童子施主加藤治兵工了道信士意法童

童女浄清信士浄圓大徳教性信士慧玉童女梅林敬香
祐覚童子念誉覚心士叙妙童女閏貞童女昳雲童
子家内祈祷英機禅定门施主浄音光祖代々英
機禅定尼先祖代々智感童女叙了善信士施主
永井太郎兵エ清岸浄心先祖代々陽岸春容士四
達行縁先寿院照月妙鏡信女菩提叙妙恵女正善院
即現自徳信士菩提智徳妙祐女妙善信女蓮成妙実
女春尊童子幻空童女施主白井氏俗名秀之助霜暁
童子智容童女素昳童女心月院光誉理正大姉梅
室智空宗林秋意士智覚童子四人精吴貞法禅
定尼秋法童子慈眼院殿心證院唯了院叙教性士
龍正院玄光童子叙玄教士憲遊春光童子先祖代

々泡玉童子喜光信女両親菩提幻露童子自性童女
円寥覚真幻旻童子梅光童女妙春菩提畢 以上左面
机高一尺七寸五分長四尺五寸横一尺三寸 真鍮燭臺壱
尺坐高二尺四寸銘地蔵尊逆修雲誉慈照空夢童
子秋音童子悪昭童子珠光童女雪幻童子秋光童
子延寿童子真鍮提灯篭高八寸無銘唐銅香爐
高五寸三分臺三寸壹分香炉銘浅草観世音奥院
六角堂鋳物師長谷川刑部 先西村屋傳兵衛弟子
馬喰町貳丁目永寿堂日北野三具足施主西村与八
安永五丙申歳七月廿八日 唐銅花瓶高五寸銘願主神
田於玉池太田久右衛門 金蓮花瓶蓮共高三尺二寸
五分瓶高壹寸七分銘権誉清讃信女應誉道感

信士西誉傾心信士真誉了頓信士先祖代々一切精
霊恵雲是等信士恵洞妙含信女峯巌拳山信士
学法信士智専信女好顔秀栄童女定花施主小
西氏 鏡経七尺二寸雲形共高一丈九寸五分石像地
藏坐像銅像地藏立像長一尺一寸五分 臺共臺坐銘ハ
寛政二年庚戌願主神田於玉池太田久右衛門 右
二躰本尊臺石の上ニ立又堂内左右と後ニ段々棚を
設け石像地藏凡二百二十體を安置ス 名霊抄ニ百
体地藏と有 太田氏 江戸砂子補ニハ百八地安永
六丁酉年立て池を去りの時其後諸人寄をとりて
今いかゝ増益しとあり
左第一棚廿四躰 第二棚廿二躰第三棚 廿三 年 第

四棚廿二躰 第五棚廿躰 共八躰左右合二百廿躰あり
真の東方名像地藏一躰立像三尺延命子安地藏
と云 残塔額奉納寛政十戌年十月吉日千貝願成
就供養所を宗全 六角堂安永年中大忍房と云
その新規ニ建立せる所なりと云
百観音供養石塔 地藏堂の外たの方ニ立高 三
尺銘百観音 菩薩供養天下泰平日月和順願
主音羅庵清参 右銘寛政九丁巳歳俗名関口仁兵衛
正面礎銘西國秩父坂東 石像地藏観音供養塔
の左の方ニ立高三尺一寸五分銘倶會一處 釈宗信
信士宝永二乙酉天正月初七日 釈尼妙正信女元禄
二己巳天十月十七日 左銘倶會一處釈常應信

士宝永五戊子天八月初七日秋浄圓信士寛保四甲子
天正月廿二日後銘延享元甲子歳四月初八日右銘俗
名喜藤進治郎施主長瀬氏
石像六地蔵上の石地蔵の左の方ニ在第一躰高
二尺七寸蓮臺ニ九小抱茗荷の紋を刻て銘秋円
西信士（元禄十六缺十二月缺）妙円信女（享保元缺八月十日）浄空信士（享保缺十）
二月　妙蓮信女（享保四六月十缺）左銘延享五戊辰缺五日江戸
浅草施主第二躰高三尺七寸五分蓮蓮臺銘缺祐
智童子缺癸卯年正月十四日右銘小田原町第三
躰高二尺八寸銘清誉浄㝎信士（七月四日）十奇峯妙徳
信尼（七月三日）心寒ニ通女（十月廿日）右銘橋町壱丁目大黒屋
治右エ門第四躰高二尺九寸銘缺玄童女缺癸卯

八月九日第五躰高二尺五寸五分蓮臺梅鉢の紋を
刻て銘到誉浄光信士（二月朔日）心誉妙安信女（二月四日）幻
泡童女（二月十二日）貞誉缺月信女（四月七日）廿浄誉清安香尼
（十月七日）本覚休意信士（七月四日）廿珠岳道休信士（二月四日）廿
波静発句碑六地蔵の並ニ在高三尺銘云父誕子信
心あつくして此霊場へ詣つゝ四十四年実安楽の
叟と呼も八十八才にして身まかりけるをしめは
地ハ父の因縁深ければ尚ま法のちかいしくて
世ハ折ニ触りて林の法もなし　永嘉亭波静
左銘享和三癸亥年建之
百観音供養石塔発句碑の並ニ在高三尺四寸五分
銘百観世音菩薩供養左銘文化元甲子三月吉日

浅草田町一丁目六十一亥川村嘉助六十才妻〻の右
銘先祖代〻正善院芳誉貞應信女明和七寅天
九月九日顧成院貞誉全應信士安永二巳天十一月
十四日知性院本誉理全信士顧海院行誉雙
運信女　正面水溜銘西國秩父坂東
百観音供養石塔上の供養塔の右ニ立高五尺
三寸正面ニ如意輪観音の石像を刻ミ銘百観
世音菩薩供養文化二乙丑歳閏八月吉日世話人
施主川村氏寺嶋氏武州埼玉郡岩槻村國邑施
主斉藤園右衛门右銘為先祖代〻一切精昊善
提也曜閣妙新信女享和二戌歳六月六日涼山
道喜信士明和二戌歳八月十八日本誓自入信
士自学妙本信女天明二寅歳八月十七日左銘為先
祖代〻一切精霊菩提也為家内安全祈祷施主
戸田氏施主浄秀奉加帳世話人四拾人
石像正観音上の供養塔の左ニ立像臺坐共
高四尺礎銘義円常住雪道俗名加藤清次壽
清智学栄壽那賀一夢道光円浄幸也両親
光蓮妙祐是性浄順慶真永隆妙休教順妙
順妙證自覚珠輪浄教右銘常住國元伯父伯
妙休心阿文化四卯六月廿三日真光了源左銘浅
草三好町摠屋平治郎　石像地蔵　地蔵堂の外
右の方立坐像臺座高四尺銘夢界幻遊童
子安永七戊戌年正月十七日左銘造立主戸田氏

室清院浄天永照大姉右銘寿峯院殿高因妙缺
大姉天明七丁未歳十一月廿二日俗名渡邉孫助
石像地蔵上の方石像地蔵の右ニ在立像臺坐
共高三尺五寸銘荷室妙照信女妙脊信女道秀
信士自円信女道順信士妙空信女道雲信士七名磨滅
左銘寛保三癸亥六月缺施主山缺屋茂兵衛
右銘光含信女缺提ぉおん菩提道覚信士缺、
石像地蔵上の石像地蔵の右ニ在立像臺座共
高三尺五寸銘歴代先祖出塊真乘院白然了
空居士蓮生院宗室妙光大姉左銘施主清水
市左エ門右銘清水市郎兵エ後銘寛保三癸
亥六月如意善日

石像地蔵上の石像地蔵の右ニ在立像臺坐共高二
尺五寸立像臺銘磨滅左銘了覚利想理円信女
妙光信女敬缺信女本誉缺覚菩提教秀信女妙
念信女法四字缺為祈祷中年女上字缺願主久林院
石像地蔵上の石像蔵の右ニ在立像臺坐共高三
尺五寸銘要岳院寂読院一家精霊安心院真龍院
一家精霊光月院妙円称智院大採二字缺瓔珞院二字缺
真缺内藤氏女安藤氏女岩崎氏女左銘昌智院殿
おきつせう二字缺叔ちゆん叔のあ〳〵信女洋子ぉんかく
信士缺よの〳〵かく信女覚了院浄光二字缺信士数字磨滅
右銘栄松缺秋露禅定門香水禅定門月了和信士
銘為妙厳信女菩提元文二丁巳年四月

石像地蔵　上の石像地蔵の方右ニ在生像臺坐共高
三尺五寸臺銘為祈禱角田氏女為祈禱内藤氏女為
祈禱岩崎氏為（三字欠）圓兩（五字欠）香寺兩（数字欠）右銘于
其（数字欠）寂生（二字欠）浄（数字欠）
石像地蔵　上の石像地蔵の右ニ在立像臺坐共高
三尺五寸銘むい（二字欠）あ〜や〜（数字欠）かくるんほ〜ニ（欠）か〜
（四字欠）七〜寶池（三字欠）左銘耒室智本大姉花屋智光信女妙定
信女浄安大姉秩尼（数字欠）右銘智蓮妙（欠）信女春泡童子也
んきん百観音供養塔　上の石像地蔵の右ニ在高二尺三
寸銘天下泰平照誉光山信士祐誉光雲信女　河内氏益
石銘西国三拾三番坂東三拾三番秩父三拾四番後銘ヌハ
きよニ心ハきん、西方、みくの浄土のきて〜菜とけ〜

百観音供養石塔　上の供養塔の右の方ニ在高四尺壹寸
五分銘西国秩父坂東百観世音菩薩供養天下太平
日月和順右銘享和二歳次壬戌冬十月吉日願主貞崇尼
石像地蔵　上の供養塔の右の方ニ在坐像臺至共高四
尺四寸五分銘先祖代々俊了童子四月八日但無童女正
月廿六日春学童子三月廿三日衆蓮童子十二月廿七日
源浄童子七月十九日清徳浄生信士十月廿五日秋月貞
寿信女八月朔日耳月童子源英童子六月二十五日了無
童子四月二十二日遊三童子遊無童子水子菩提江戸両
国米澤町二丁目四ッ目屋内施主明照むゑ
石像子安地蔵　上の石像地蔵の右の方ニ在立像臺坐
共高五尺二寸五分銘千日参供養佛先祖代々一切精灵

百縁無縁三界萬霊塔享和二壬戌年三月吉日本郷春木
町願主清誉真乗法子
正観音石像　上の石像地蔵の右の方ニ在立像臺ニ共高
五尺九寸銘施主新吉原江戸町万字屋松もつはな尾
さしかれまらなの海やかゝるらぬさしきゝらゝま
川かゑわつのあけわうなよしも　大吉まさみさ
ふ天明五乙巳二月十三日九月廿八日八月廿七日五月一日
十方人供養石塔　本堂の後ニ在
銘供養塔　竊以精舎之修営者佛法興隆之勝概而
國家安全之基址也益當山堂舎鴛瓦既落彩椽幾
朽故私勧修営之微志廣募遐迩之貴賎自享保四
年己亥五月與土木之功至享保六年辛丑九月成焉

因建供養塔而千萬人結社簿施主檀越姓名及其本
手之紀事悉藏其中　次傳於不朽経曰若有衆有生
恭敬禮拜観世音菩薩福不唐捐云云　宜哉大悲惠
日普照一心稱名群類應化覚月常浮一時恭敬心膽
且現童男童女施慈念與樂化入三百苦海頭大悲
抜苦徳況修造梵留供養法身其功徳不亦大乎所
謂塵芥積而山高涓露滴而海深者欲所祈者天下
泰平五穀豊饒信心施主現世安穏而子孫永栄後
生善處而佛果須成乃至法界利益周遍于時享
保六年辛丑之冬十一月日當山寺防僧正公然謹誌
願主此功徳普及於一切我等与衆生皆共成佛道十
萬人講中寄進檀越中御供袋志中抜片寄進

中工居葺志中左官寄進中餝方寄進中瓦奉加
志中瓦洗寄進中人足寄進中右各佛果菩提塔
也

圖書局文庫
内閣文庫

国立公文書館
National Archives of Japan